

2024年度 ダイナック健康経営レポート

感動を調理する。

DYNAC

ダイナックグループの目指す“健康経営”について

2022年に経営トップが健康管理最高責任者に就任し「健康経営宣言」を行いました。

健康経営宣言



株式会社ダイナック
代表取締役社長 兼
健康管理責任者

綾野 喜之

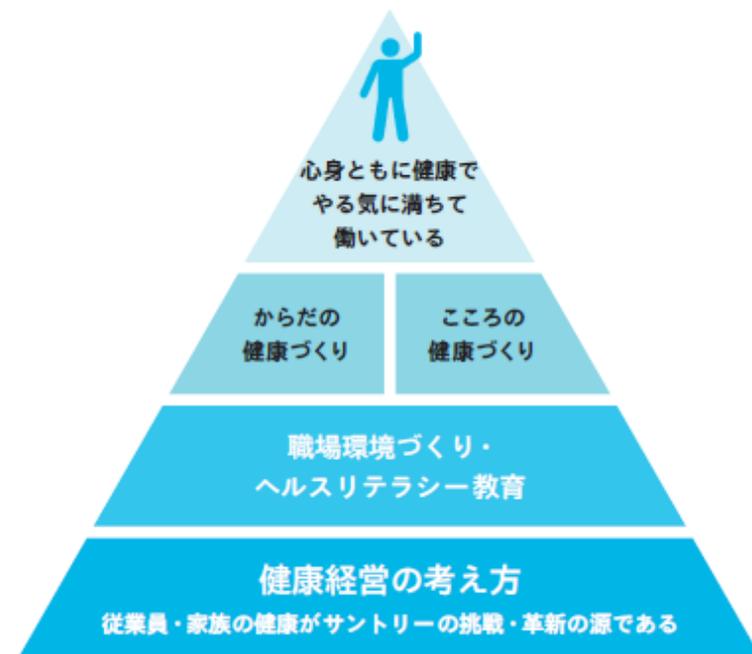


本物の感動体験を味わってもらうために、食の新たな可能性を創造し続ける企業として、まずは当社の全従業員が心身ともに健康でやる気に満ちている状態を目指します。

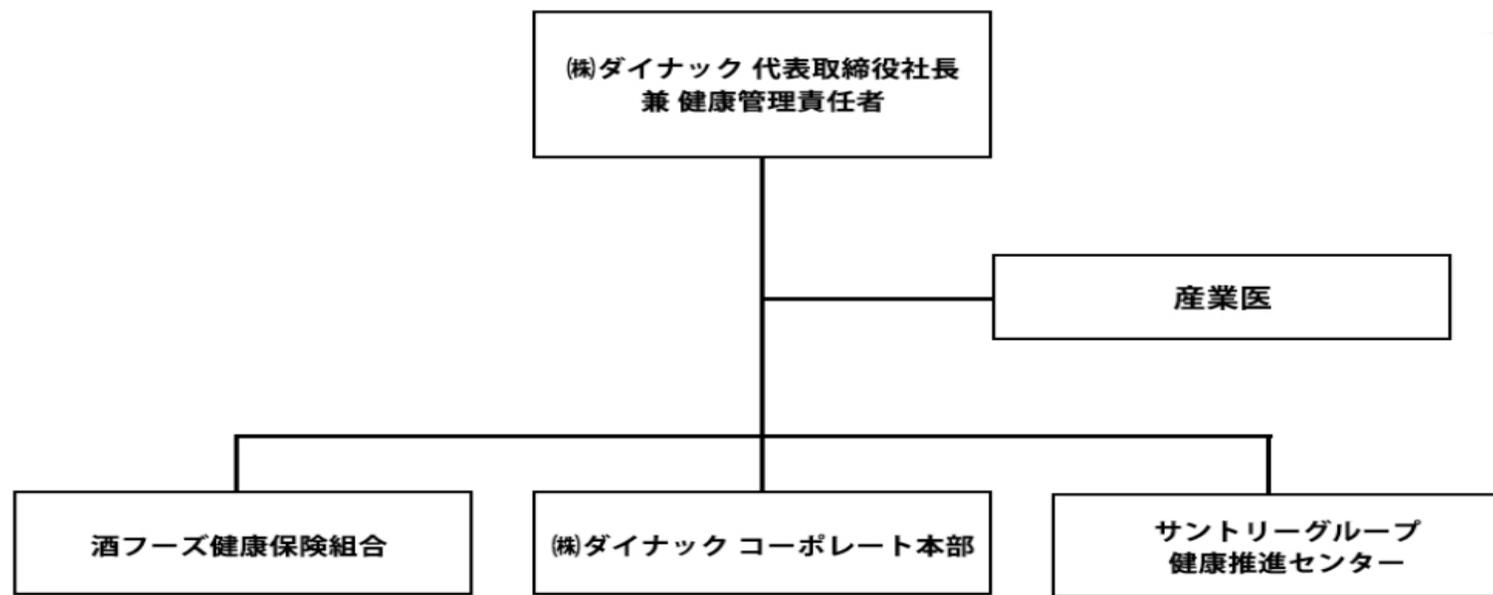
従業員の健康管理については、定期健康診断の受診を徹底し、メンタルヘルスケアに関しては従業員のストレスチェックを毎年実施し管理体制の充実に努めています。役員を含む管理職に対して管理者研修を実施しているほか、社外に相談窓口を設け、カウンセリングとメンタルサポートを行っています。

基本方針

- 職場の環境整備や働き方改革を通して、従業員の健康基盤づくりを推進します。
- 従業員への健康情報の提供や個別支援を通して、ヘルスリテラシー教育に取り組みます。
- 生活習慣の改善とともに予防、早期発見、両立支援など身体の健康づくりを推進します。
- 一人ひとりがメンタルヘルスを理解し、適切に心のケアができるよう支援します。
- 取り組みを通して従業員と家族の“人間の生命の輝き”の実現を目指します。



健康推進体制



実施している健康会議

名称	主な出席者	開催頻度	内容
リスク会議	<ul style="list-style-type: none"> 取締役社長 役員 	毎月1回	従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および労働安全衛生法関連のリスク協議
健康管理推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険組合 看護職 	年1回	酒フーズ健康保険組合の保険事業・活動について、年間を通しての活動評価・課題共有・意見交換を行う
グループ会社人事担当者	<ul style="list-style-type: none"> サントリーグループ健康推進担当者 看護職 	年1回	サントリーグループ会社としての従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および、改善に向けての協議
健康推進担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> サントリーグループ健康推進担当者 看護職 	毎月1回	従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> 産業医 看護職 衛生管理者 	毎月1回	各事業場の従業員の健康状態、推進している健康施策の状況確認および改善に向けての協議

健康相談対応の体制

全従業員を漏れなくサポートするため、看護職が全事業所を分担して受け持つ担当制を導入しています。担当の看護職が社員からの相談窓口となり、産業医、メンタル専門医などが連携して社員の相談に対応し、健康に就労できるような支援を行います。

また、社内の産業保健スタッフだけでなく、外部相談窓口として、プライベートな家族の問題も含めて相談ができる相談窓口や、24時間365日医療相談ができるオンラインサービスFirst Callを設置しています。



社内相談窓口	看護職	健康面談など社員との日々の接点を通して社員の一番身近な存在としてサポートします。
	産業医	統括産業医を中心に、定期健診の事後措置や各種面談指導や治療と仕事の両立支援などを行います。
	メンタル専門医	職場のメンタルヘル스에精通した精神科医が産業医や看護職と連携し、従業員をサポートします。
社外相談窓口	EAP	プライベートや家族の問題など様々な悩みについて社外のカウンセラーに相談できる外部サービス
	チャット型医療相談サービス	24時間365日チャットやテレビ電話で気軽に医師に健康相談ができるオンラインサービス
	臨床心理士	心理学の知識に基づいたカウンセリングを行い、悩みを抱える社員をケアし、問題を解決できるよう支援します。

*1 EAP：酒フーズ健康保険組合が提供する「ファミリー健康相談」を利用、各種健康相談や対象疾患の専門医案内・セカンドオピニオン取得の手伝い等を行う

*2 臨床心理士：酒フーズ健康保険組合が提供するメンタルヘルス・カウンセリング事業、電話及び面談にてカウンセリングを行う

健康経営の重点項目と目標値

ダイナックでは以下を目標に掲げ、各種施策に取り組んでいます。

	項目	単位	21年度	22年度	23年度	30年度目標
健康診断	健康診断受診率	%	99.7	100.0	100.0	100
	再検査・精密検査受診率 重点項目	%	20.0	44.1	29.8	100
	適正体重者率	%	63.0	63.8	62.0	80
メンタルヘルス	ストレスチェック受診率	%	85.4	79.6	95.6	100
	非高ストレス判定率	%	91.4	86.8	86.8	95
生活習慣	ヘルスリテラシー（すでに改善に取り組んでいる割合）*	%	—	14.8	14.6	50
	禁煙 非喫煙率 重点項目	%	58.2	58.5	60.0	80
	運動習慣 週2回以上の運動習慣の定着率	%	21.7	23.1	22.8	80
	睡眠 睡眠で休養が取れている人の割合	%	67.4	54.4	53.1	90
働きやすさ	今の会社で働いていることにどの程度満足していますか （ワークエンゲージメント）*	点	63	57	57	90
	年間有給休暇取得日数	日	8	10.4	8.2	15
	年間有給休暇取得率	%	45.7	53.9	46.4	80
	月平均残業時間	時間	24	26	47	25
	平均勤続年数	年	12.7	13.8	13.5	
	労働災害による死亡者数	人	0	0	0	0

*ヘルスリテラシー：「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか」の質問に「既に改善に取り組んでいる」と回答した人の割合

ワークエンゲージメント：「今の会社で働いていることにどの程度満足していますか？」の設問で判定。

回答スコア1-5を100点満点（1=0点、2=25点、3=50点、4=75点、5=100点）に換算し、実績値はこの設問の平均点数。

従業員への働きかけ

公私ともに健康でやる気の満ちた「ウェルビーイング」な状態を目指すために、従業員が自ら取り組むべき項目を具体的に揚げ健康意識を醸成するためのヘルスリテラシー教育を積極的に展開しています。

毎月配信のサスティブル動画で健康経営を取り上げ、健康経営が自分にどんなメリットがあるのかを分かりやすく提示し従業員の理解向上を図ります。

健康経営のメリット

生活習慣病
予防・改善



ワークライフ
バランスの実現



健康上の理由で
退職へ追い込まれない



健康の不安なく
業務に打ち込める



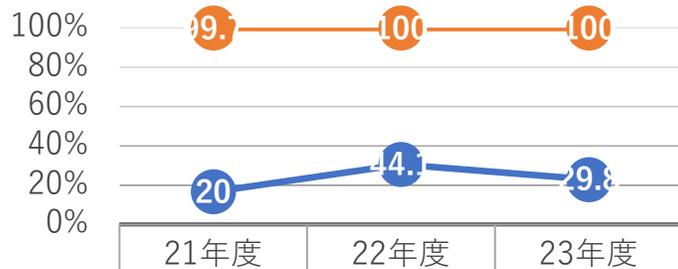
健康診断の確実な受診

【目標：健康診断受診率100% 再検査・精密検査受診率：100%】

定期健康診断・再検査受診

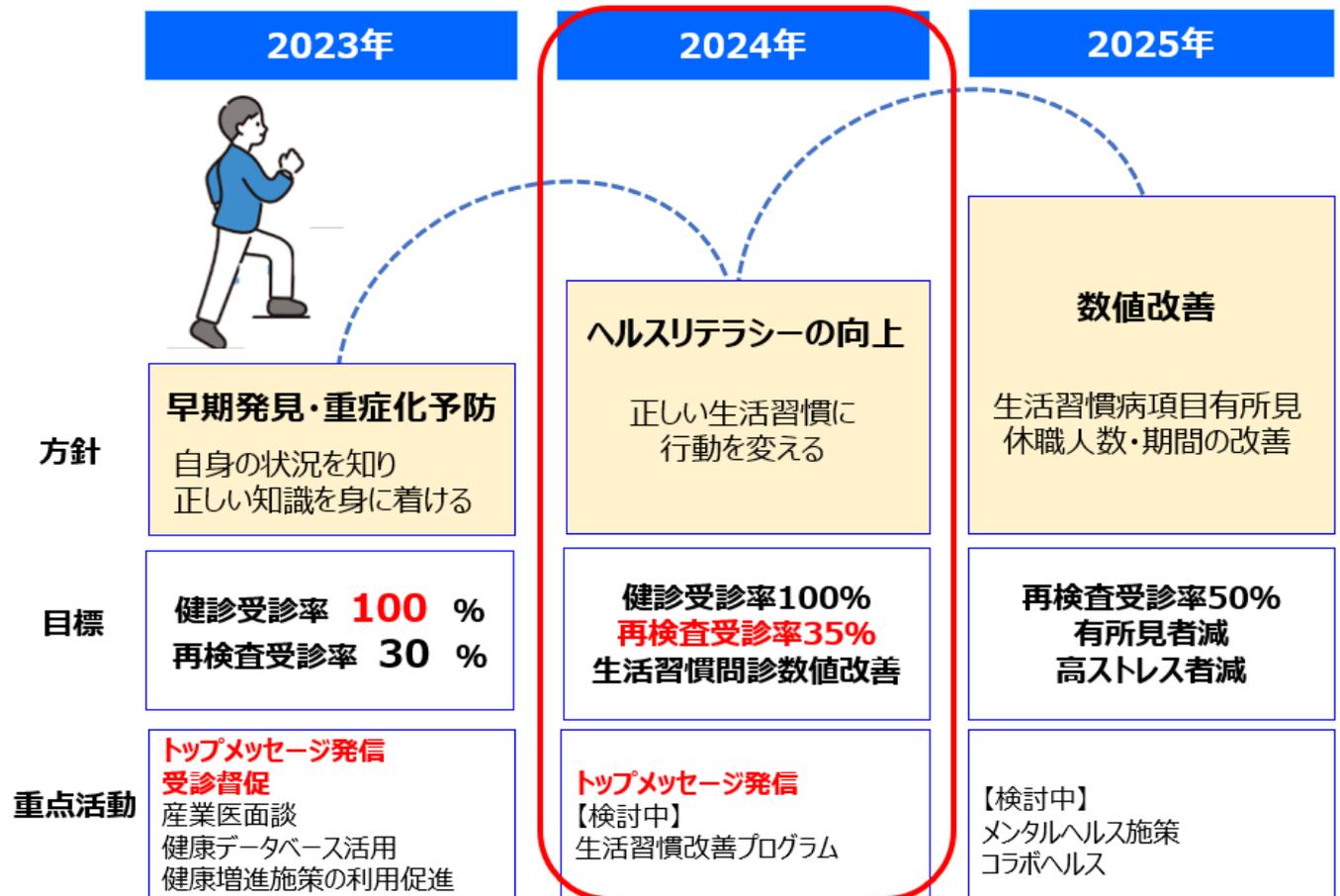
- 22・23年度：2年連続で健康診断受診率100%達成
- 23年度：再検査・精密検査受診率：29.8%
- 24年度：35%を目標に設定
- 30年度：100%を最終目標とし取り組みを強化します。

健康診断受診率



健康診断受診率	99.7	100	100
再検査受診率	20	44.1	29.8

中期目標と2024年重点活動



ヘルスリテラシー向上への取り組み

重点項目

再検査への補助

再検査受診率伸び悩んでいる中、23年：29.8%と前年を下回ったという課題を受け、対象者がメリットを感じられる動機付け支援と専門職指導によるヘルスリテラシーの向上の両輪で受診率向上を目指しています。

- ▶再検査結果の報告者へ受診費相当を補助し費用面で動機付けを行う
 - ▶保健師が面談、体調確認と再検査の重要性を説明。
 - ▶未受診者へ1ヶ月・2ヶ月経過時メールで催促連絡。
- それでも未受診の際は保健師が再度面談実施、受診の重要性を説明

再検査は必須の土壌熟成し再検査層からヘルスリテラシー向上を目指していきます。

禁煙への支援

喫煙率が全国平均の2倍以上で推移しているという課題を受け喫煙者本人はもちろん受動喫煙対策の点からも喫煙率低下を重点課題としました。

- ▶禁煙外来の受診料補助・ニコチンパッチの無料提供・「禁煙おうえん隊」の3つの禁煙メニューを作成 達成者へ賞品をプレゼント
- ▶社長から、禁煙への取り組みを全社発信
- ▶本社・支社にて週一日の就業時間内禁煙「吸いませんデー」を策定
25年には全日就業時間内禁煙実施予定

喫煙者はもちろん、受動喫煙防止の為にも対策を推進していきます。

健康の不安なく
業務に打ち込める



健康上の理由で
退職へ追い込まれない



本日、就業時間内禁煙

お台場・大阪オフィスの喫煙者の皆さん、
本日、水曜日は「スイ曜日はスイませんデー」
就業時間内禁煙です

どうしてもスイたい方は、
勤怠を休憩処理してください

2025年1月より、
曜日問わず毎日就業時間内禁煙となります

ダイナック 禁煙(受煙)サポート施策

(1)禁煙外来受診料補助：禁煙外来受診費用の一部を会社が補助
(2)ニコチンパッチ補助：禁煙補助剤の費用を会社が負担
(3)社内喫煙サポートプログラム：看護職・見守り隊が喫煙を応援する取組

感動を調理する。
DYNAC



禁煙率
5%UP

食生活改善の取り組み

欠食予防×ダイナックまかない自慢

飲食店の特性上、夜型の生活になりやすく欠食率も高いとの課題があった。ダイナックでは飲食店の魅力の1つである「まかない」による欠食予防に取り組んでいます。

- ▶各店が自慢まかないを投稿するInstagram「ダイナックまかない自慢」を開始、飲食店で働くメリットを提示、従業員定着率上昇を目指す。
- ▶まかないを無償や安価で提供し、従業員もれなく支援を行う

「まかない」からの商品化、サントリー本社社食とのコラボ・「いいね」数上位へのアワード等、店舗へのモチベーション&健康の相乗効果を目指す。



しゃぶしゃぶしゃぶにして
カロリーDown
みょうが・ナス・ししとう等
季節野菜をふんだんに取り入
てGood!
麻辣タレと薬味ポン酢で飽き
ずに食が進む工夫あり

栄養士コメント



ダイナック まかない自慢 SWH社食コラボ!

投票で選ばれたまかないをサントリーお自慢オフィス1階にあるSWH社員食堂の限定メニューとして販売します!

※ダイナックまかない自慢 ※SWH社員食堂

お題: 残暑に食べたい!
冷たい麺まかない

朝食欠食対策

夜型の生活により、朝食の欠食率が50%超という課題を受け簡単に栄養が取れる朝食補助を開始、欠食率の低下に取り組んでいます。

- ▶サントリーの朝食支援への参加により朝食補助を開始。
9:30までの購入の際に半額をキャッシュバック
本社から取組開始、効果検証を行う
- ▶健康通信にて朝食の重要性の理解を促す

「3食キッチンと食べる」という基本の食生活の定着を目指す。

“朝ごはん”の効能

エネルギー充足	代謝UP	体内時計が整う
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間睡眠中に活用したエネルギーを補充し、脳を活性化 ・集中力や記憶力を高め仕事の効率がUP 	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠中に下がった体温が上がり体が目覚めます ・午前中から元気に活動可能に 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事時間が一定だとその時間に合わせ、消化管が活発になる。 ・便秘解消にも効果あり

朝食摂取は体のスイッチ~脳と身体が活性化されて仕事効率がUP

朝ごはんを食べよう! キャンペーン はじまるよ!

9時半までに対象商品購入で **半額戻る**

¥180 → ¥90

朝ごはんを食べると体内スイッチON

朝食を食べないと体内時計がスレちゃうよ! → 食事時間がバラバラ → 活動時間が後ろにスレる → 体重増加 肥満

朝食を食べない → 体内時計がズレる → 血糖値↑ 脂肪代謝↓ 夜に大食い → 体重増加 肥満

朝食を食べて肥満予防!

※商品は毎月入れ替わります

運動習慣改善の取り組み【目標：運動習慣のある従業員の割合80%】

グローバルウォーキングイベント「One Suntory Walk」

「One Suntory Walk」は全世界のグループ会社と一緒に毎年開催しているウォーキングイベントです。参加者が1か月間一体となって健康意識を高め、運動習慣を身につけることができます。

参加者数に応じてサステナビリティ活動に取り組む団体に寄付する仕組みです。



サントリーソフトバレーボール大会

国内のグループ会社従業員とその家族を対象としたソフトバレーボール大会を、全国8会場で開催。

合計1万人以上が参加し、普段顔を合わせない従業員同士が、スポーツを通して直接コミュニケーションをとりながら一体になれる貴重な機会となり、大いに盛り上がりました。



- ・参加者満足度：92.2%
- ・参加者のコメント

会社の同僚や上司と会話する機会が増えて楽しかった
スポーツを介して上司とも打ち解けることができた
子供向けの遊び場がとても充実していて家族で楽しめた

体力測定会

自身の現状を正しく理解し、行動変容に繋げてもらうため体力測定を開始。

従業員や家族が参加するソフトバレー大会や本社で実施し「気づき」の提供をしています。



メンタルヘルスの取り組み【目標：非ストレス率95%】

ラインケア

メンバーの「心の健康」についての心がけや具体的な対処法を学ぶ機会として、マネジャーを対象にラインケアセミナーを実施しています。

講座内容

- ▶メンタルヘルス状況の共有
- ▶一般的な事例から「適切な相談対応」を学ぶ
- ▶グループ会社の具体的な事例からケーススタディをする
- ▶相談窓口の案内

部下の変化に気付ける上司・相談しやすい上司の育成を目指します。

対象者数：108人

参加率：100%



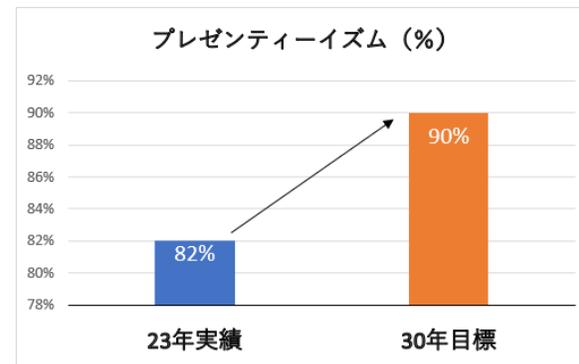
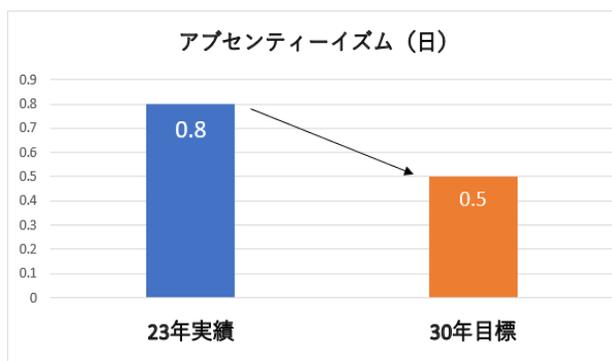
生産性向上の取り組み

心とからだの健康支援

メンバーの心とからだ健康に維持され、一人ひとりが能力を十分に発揮できる状態を目指し健康支援に取り組んでいます。

- ▶生活習慣アンケートを実施し、アブゼンティーイズム・プレゼンティーイズムを測定。能力を發揮できる状態にいるかを確認
- ▶社内に「両立支援コーディネーター」を配置、傷病後も安心して働ける環境を整備する

長く安心して働ける環境を整え、生産性の向上を目指します。



※アブゼンティーイズム：体調不良が理由で勤務できない日数3か月の平均

プレゼンティーイズム：病気やケガがない時を100%とした場合の仕事の生産性4週間の平均

コラボヘルスの取り組み

健保と会社が協働する保健指導

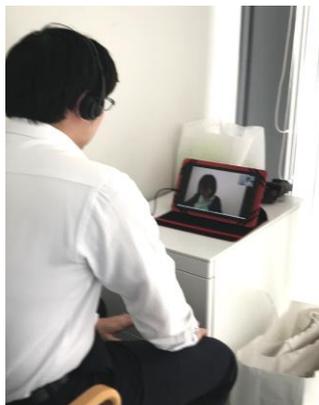
ダイナックでは「コラボヘルス」の取り組みとして、国から保険者に義務付けられている特定保健指導を健保と協働で実施しています。

- ▶ 支社での集団検診時に、健診受診者全員に健保の保健師・管理栄養士によるオンライン面談を実施
- ▶ 特定保健指導対象者にはその後、2、3回目の面談を実施

特定保健指導対象者はもちろん、全員面談を実施することにより対象者になる前に改善を促し、リテラシーの向上につなげます。

対象者数：252人

参加率：100%

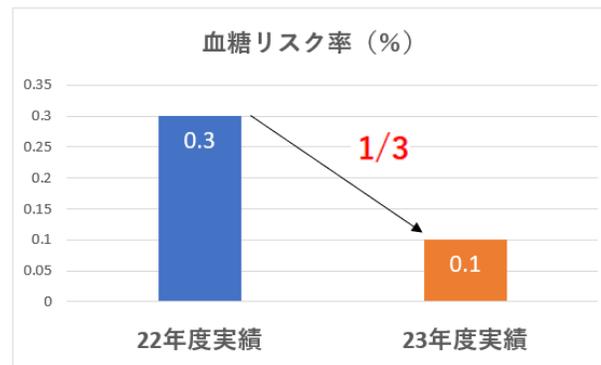
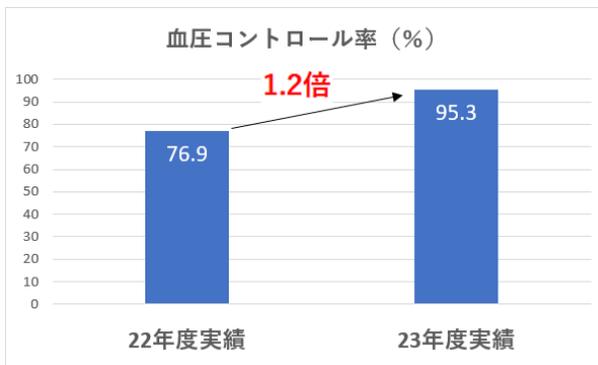


健保と会社が協働する重症化予防

健康診断の有所見のうち医療機関未受診者を健保がレセプトを元に割り出し受診勧奨を実施。事業者と保険者が協力し相互に行う事で支援もれを防ぎます。

- ▶ 血圧と血糖で異常値の従業員かつ、健診後6ヶ月経っても未受診者へ健保より通知を発送、受診を促す。
その後、4ヶ月間の受診状況を確認。
- ▶ 健診受診後早期対応：事業者、レセプトによる受診観察：健保と協働し取り組む。

早期受診による重症化を予防と、治療中断率の低下を目指します。



健康経営戦略マップ

